

松本市立旭町中学校 沿革史

年		月	日	できごと
昭和23年	1948年	4	5	長野県松本市立旭町中学校設置。 旧松本五十連隊兵舎の一部を仮校舎として開校する。
昭和30年	1950年	4	6	松本少年刑務所内に、桐分校を設置する。
昭和32年	1952年	11	23	新校歌制定する。
昭和43年	1968年	11	24	創立20周年記念式典を挙げる。
昭和44年	1969年	3	19	校歌碑の寄贈を受ける。
昭和53年	1978年	11	4	開校30周年記念式典を挙げる。
昭和59年	1984年	4	12	新校舎教室棟が完成し、新教室に移る。
昭和60年	1985年	3	11	体育館が完成する。
昭和61年	1986年	4	1	新校舎全面使用を開始する。
		10	31	校舎改築竣工式を挙げる。
昭和63年	1988年	10	26	開校40周年記念式典を挙げる。
平成2年	1990年	9	4	LL教室を設置する。
平成3年	1991年	6	30	生徒会が中心となり、雲仙普賢岳被災地に、資源回数等で集めた義援金を届ける。
平成8年	1996年	4	8	院内学級が、信大病院内に開級される。
平成10年	1998年	7	23	ソルトレイク市立ヒルサイドインターメディエイトスクールと姉妹校の提携を結ぶ。
		10	2	校内発表会「絆 15000人の輪のもとに、過去から未来をみつめて」に合わせ、開校50周年記念式典を挙げる。
平成11年	1999年	8	24	ソルトレイクの姉妹校に、本校職員が訪問し、交流する。
平成12年	2000年	3	16	プール改修、柔剣道場の竣工式を行う。
平成14年	2002年	8	27	トイレ改修工事が完了する。
平成16年	2004年	10	1	校内発表会にて、新しい試みとして、シンポジウム旭町「人とのつながりの中で私たちは……」が行う。
平成18年	2006年	4	19	3年生が平和学習の一環として、広島見学を日程に組み込んだ修学旅行を実施。
平成21年	2009年	8	27	総合的な学習の時間を使って、豊かな人間性が育まれるように願い、講演会「先人に学ぶ」を開催。
平成22年	2010年	4	1	桐分校に聴講生制度が導入される。
		10	11	桐分校を取り上げたドラマ「塀の中の中学校」が放送される。
平成29年	2017年	9	4	台湾・高雄市からの一行65名と交流を行う。
平成30年	2018年	9	29	校内発表に合わせ、開校70周年記念式典を実施。
平成31年	2019年	4	1	桐分校にて、学びなおしの生徒の入学も可能になる。
令和2年	2020年	3	20	使用教室に大型プロジェクターが設置される。
		4	9	新型コロナウイルス感染症大防止のため、臨時休業となった。
令和3年	2021年	3	30	使用教室にエアコンが設置される。
令和4年	2022年	12	9	校舎内のトイレ洋式化のための全面改修が行われる。
令和5年	2023年	9	29	4年ぶりに入場制限を設けることなく、校内発表会を実施。
令和6年	2024年	3	31	「みんなのトイレ」(多目的トイレ)完成。

年		月	日	できごと
令和6年	2024年	4	9	桐分校開校後、初めて女性の受け入れを行う。
令和7年	2025年	12	1	音楽室外扉、携帯端末連動式キーボックス設置。
		3	30	校内の照明が、LEDに切り替わる。
令和8年	2026年	1	10	タブレット端末の更新完了。
		4	9	桐分校開校後、初めて男子（5名）女子（5名）共学となる。